

12 自由回答

問 県への意見があればご自由にお書きください。

県への意見を自由に記述していただいたところ、384人から延べ434件の回答が寄せられた。記述いただいた内容は多岐に渡り、県政の各施策におおむね沿った形（合計43項目）で整理した。

なお、一人の回答が複数の内容に渡る場合には、原文の内容の趣旨をそこなわないよう回答を分け、それぞれの項目へ分類した。

また、紙面の都合上、すべての意見を掲載することはできないが、意見の多い上位10項目に関しては、一部抜粋してご意見を記載するものとする。

【自由回答の項目順位】

順位	項目	件数
第1位	県政全般に対する要望	86
第2位	調査に関して	46
第3位	道路を整備する	44
第4位	医療サービス体制を整備する	32
第5位	高齢者の福祉を充実する	23
〃	次世代を担う子どもの育成支援を充実する	23
〃	住んでいる市町村への要望	23
第8位	便利な交通網を整備する	15
第9位	学校教育を充実する	12
第10位	犯罪防止対策をすすめる	11
〃	県警への要望	11
第12位	障害者の福祉や社会参加の支援を充実する	9
〃	自然を守り、緑を育てる	9
第14位	県政情報の発信や活動のPRについて	8
第15位	青少年を健全に育てる	6
〃	大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる	6
第17位	交通事故から県民を守る	5
第18位	雇用の場を広げる	4
〃	公園・緑地・水辺を整備する	4
〃	国政への要望	4
第21位	中心市街地の活性化を推進する	3
〃	NPOやボランティアへの活動支援を充実する	3
〃	観光を振興する	3

（次ページに続く）

第 21 位	仕事と子育てが両立する働き方を実現する	3
〃	農林水産業を振興し新鮮な農水産物を供給する	3
〃	芸術・文化活動を振興する	3
第 27 位	災害から県民を守る	2
〃	消費生活のトラブルに関する対策をすすめる	2
〃	母子、寡婦、父子家庭等の福祉や社会参加の支援を充実する	2
〃	健康づくりをすすめて、病気を予防する	2
〃	動物に関する問題について	2
第 32 位	省資源やリサイクルをすすめる	1
〃	廃棄物対策をすすめる	1
〃	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する	1
〃	下水道を整備する	1
〃	安心して飲める良質な水道水を供給する	1
〃	I T (情報通信技術) を生かした社会づくりをすすめる	1
〃	まちの景観や美化について	1
	その他	18
	合計	434

【自由回答の記述】(上位 10 項目の一部抜粋)

■県政全般に対する要望

- 税金が高い。子どもが生まれて税金が上がったため、家計に打撃を受けている。これ以上、子どもはつけれないと思わせないように、取り組んでほしい。(男性・40代・中央地域)
- 税金でやりくりするのですから、無駄遣いをしてほしくない。そのために人件費を削減して、民間と差をつけずに、平均した給与・ボーナスを考えるようにしてほしい。新聞・テレビなどの報道で差がありすぎると思います。(女性・50代・西地域)
- 今回の質問の中に 60 歳以上になってからの～という部分がありました。正直わからない部分でした。本当はいけないのかもしれませんが…。今は子育てに手いっぱい、あまり考えずにいましたが、よい機会なので少し考えてみようと思います。食育という部分はとても興味があるところなので、これからも考えていきたいです。今、年金問題などで行政を信用できなくなっています。「悪いことをしたら自分に返ってくる」それは子どももわかっていると思います。これからは市民・県民・国民のためにがんばって信用を取り戻してほしいと思います。(女性・30代・西地域)
- 県財政も非常に厳しい状況である。節約・透明性・無駄、費用対効果を徹底。職員はまず、自分が民の犠牲になる精神で業務に励んでいただきたい。(男性・60歳以上・中央地域)
- さまざまな県民の要望に応えるための施策は必要ですが、全国どこも財政難に苦しんでいます。将来、または、未来の子ども達に負の財産を残さないよう、財政再建に取り組んでください。(男性・50代・西地域)

- 国民（県民）の税金を無駄なことに使わないでください。特に年末、道路等の整備が毎年、つじつまあわせのように毎回同じ所で行われています。このような工事は本当に必要ですか？もっと他の大事なこと、例えば、森林問題・環境問題・医療のこと等に使わなければいけない所が多数あるはずです。しっかりとお願いいたします。（女性・50代・西地域）
- 市町村の合併を県としても促進して、できるだけ市町村間の格差を少なくするよう、県の立場で指導してください。（女性・60歳以上・西地域）
- 安全で快適な住みやすい街づくりを目指していただきたいと思います。そのために県民が参加すべき内容のことは、広く情報を公開してほしいと思います。（男性・30代・西地域）
- 年金（パートも含む）が主体とした家庭では、今年の税制の改正により、所得税は少し減っても県税・市税が大幅に上がったので生活が苦しい。約4倍弱増加した。収入の少ない人から大幅増税では、政治に対する不満は増えるだけである。格差社会を直せるような県政を行ってほしい。（男性・60歳以上・西地域）
- 将来、年金生活になったとき、いろいろな税金を納めていけるか不安になります。高齢者問題や福祉に関して、もっと力を入れてほしいと願っています。（女性・50代・東地域）

■調査に関して

- 今回、県政に関する世論調査としてアンケートにお答えする機会をいただいたのですが、他県から転入して一年足らずの者には回答しづらい内容が多いように感じました。もう少し回答の項目に工夫していただければと思いました。例えば、出身地が違えば、住んでいる地域の郷土料理を作る機会はほとんど考えられないのではないのでしょうか。（女性・30代・西地域）
- お答えするのに難しい問題もありましたけれど、いろいろ考えるのにはとても良い機会でした。（女性・50代・西地域）
- このような試みは、とても良いことであると思いました。大学生として千葉に住んで3年で、今後、千葉市に住み続けるとは限りませんが、地方行政について考えることができた良い機会でありました。しかしながら、今回の世論調査が今後どのような活用をされるかが明確にされていないのが残念です。また、「こんなことをやっているのか」と思うほど、県としての積極的な政策を行っているにもかかわらず、それが県民全体に浸透されていないのが問題です。これからの大きな課題ではないかと思います。（男性・20代・中央地域）
- これまでにいくつかの都府県に在住経験がありますが、千葉県は首都圏の一県としての存在で、あまりその独自性や愛着すべきものを感じたことはありません。ただし、今冬マンションを購入し、おそらく長く暮らすことになるであろうことと、今回のこのアンケートにより、県関係者の方々が常に模索されていることを知り、少し関心を持ってみようと思いました。日常の生活の中で一個人が意識を持って活動することが大切であり、すべてを行政に委ねることでは問題は解決しません。どうぞ税金を有効に使ってください。さらなる皆様のご活躍に期待します。（女性・40代・西地域）
- アンケートを採ることで安心せず、内容をきちんと考えて県政に活かしてください。集めた税金は無駄なことには使わず、本当に必要なことに使ってください。県民の立場に立ち、すべてのことに取り組んでください。（女性・20代・南地域）

■道路を整備する

- これから急速に進む少子高齢化社会に向け、経済効率のよい生活が求められてくる。特に高齢化率の高い地方は、救急医療・福祉の面で厳しい環境に既にあると思われる。現在ある医療施設や福祉施設を効率よく使うこと、さらには、高齢者に積極的に社会参画していただくためにも、道路網等の整備は緊急の課題だと考える。また、都市部でも渋滞対策は、経済活動はもとより普段の生活においても大きな障害になっている。千葉県には大きな空港・港湾があるが、道路との連携や道路網が不十分なため、十分機能していないのが現状と考えられる。これらの施設を今後、より効果的に利用するにはどうしたらよいのか。千葉県の50年後・100年後を見据えた中で、必要なインフラ整備を着実に進めてほしい。(男性・50代・中央地域)
- 80才を過ぎましたので自動車の免許を返しました。市内は歩くと痛いので自転車で走り回って用を足しています。自転車が安心して走れる道路にしてもらいたい。道路の端に白い線を太く書いてあったり、どぶ板の上の歩道代わりのような道では、自転車は恐くて乗れません。また、黄色い盲人用の道標もよく考えて貼ってください。貼る場所によっては、自転車がすべって溝にはまりそうになります。バスは時間が不正確なので、市内はなるべく車の激しく通らない、歩道は幅が広くて人があまり歩いていない道を選んで、少しくらい遠回りでも、自分の身のこなしで走れるほどのスピードにして走っています。すると、若い人が、遅いからイライラするのか、脇を猛スピードで走り抜けたり、横路から確認せず飛び出したりしてとても危険です。そのほか無灯車もあります。道路行政をしっかりとやっていただきたいのが今一番の願いです。自転車で市内が走り回れば、これからも元気でばけずに毎日の生活をエンジョイできます。(女性・60歳以上・西地域)
- 都市計画道路行政がまったくなくなっていないので改善を望む。(理由) 事業計画説明会・実施計画説明会等があり、事業予定年度(完成年度)が説明されるが、10年以上の遅れは多々あり。これでは計画地内にいる人の生活基盤・生活方向が決められない。完成年度をもとに町がこう変わる、こうなると想定し、自分の生活基盤を立てるが、計画が遅れ遅れになると生活そのものが不安定になるし、完成した頃には社会状況が変わってきており、無駄な物となる。10年すると世の中は大きく変化する。道路投資の集中化を望む。(男性・50代・西地域)
- 県道・道路脇の土手など、草刈りを定期的にしてほしい。街中の整備はよくしているのを見かけるが、農村部の方にはほとんど(まったくと言ってよい)来てないと思う。自分たちが労力をかけてやっているのが現状である。(男性・60歳以上・中央地域)
- 道路整備の時期が年末・年度末に集中しているように思われます。そのため、渋滞が各所で起こり、日常生活にひびきます。工事等が一定期間に集中しないようにしてほしい。(女性・40代・西地域)

■医療サービス体制を整備する

- 医療機関が近くになく困っています。具合の悪い子どもを遠くまで連れていくのは大変です。また、入院できるような病院も少なく、喘息を持つ子どもがいるので、発作が起きたらと思うと不安な日々です。夜間、診てくださるところもないので、それも不安です。小児は急変しやすいので、医療機関の充実をお願いします。安心して子どもを産み育てることのできる地域こそ、発展するのではないかと考えます。(女性・30代・西地域)

- 長期療養型病院を増やしてもらいたい。病院の理念として、入り口に「お客様のための医療を目指し、住みよい環境作り」とか、すごい謳い文句を掲げてあるが、実際は国からの押さえ付けで汲々としている。ここは本人のためによさそうだと思うと、すぐに追い出す。自分の選んだ所でゆっくり療養させてやりたい。入院費が高い所（30万円近く）か、遠い片道40キロかかる所ではか選べない。（女性・60歳以上・東地域）
- 医療の問題、特に医者・看護師等については、もっと力を入れてもらいたい。医者・看護師の人員不足がないように対応してもらいたい。（男性・60歳以上・南地域）
- 千葉県は、緑・海・都会・国際空港・東京ディズニーランドもあり、恵まれている県だと思います。私は千葉県が大好きです。あえて日常生活している中で意見を言うと、子どもの医療費が隣の町は小学6年生まで無料なのに、私の市では4才までです。それぞれの市町村で財政の違いはあると思いますが、こんなにも違いがあってよいのでしょうか？小さな子を持つ親達は「何で〜？」って声が多いです。私は持家なのでここに住んでいますが、アパートなどを借りるとしたら、隣の町がよいですね。子どもが3人いると、年間、病院に行く回数わりと多いです。小さな問題かもしれませんが、この問題だけでも潤いを持つ町ができ、一方は疑問を持って暮らすわけですから、よいことではありませんよね。これからも県民が安心・安定した生活ができますよう、よろしく願います。（女性・30代・東地域）
- 現在、子どもの医療費がわが地域では就学前まで一律200円となっていますが、これは他県と比べて決して優遇されているとは思えません。一回病院へかかると何千円も支払わねばなりません。薄給の若い親にとっては一人の子育ても大変です。貧富の差も大きくなりつつあるように思います。貧しい家庭では子どもを塾に行かせることもできず、教育の格差が生じているのではないのでしょうか。これでは第2子・第3子を望むことは不可能です。安心して子どもを産んで育てられるような明るく未来のある千葉県であるよう願っています。（女性・60歳以上・中央地域）

■高齢者の福祉を充実する

- 物価がじりじりと高騰し始めている昨今、高齢な年金生活者は不安をたくさん抱えています。医療の問題：医療費が高い。老人を多く受け入れている病院は、患者を物のように扱っている。劣悪な医療現状を知ってほしい。通院の足を確保しにくくなっている（タクシーの値上げなど）。交通の問題：以前は60才以上にバスのパスがもらえたが、今はバス自体の本数がなくなってしまった。コミュニティバスの運行は、安くてこまめに回ってくれるので助かっています。できたらJRの駅まで行ってほしい。老人施設の問題：老人ホームが郊外にたくさんできていますが、大金を払って入居し倒産ということになったらどうしましょう。県が老人施設についての情報公開一覧のようなものができないものか。地域住民の連携：東京のベッドタウンのこのあたりは、住民の連帯感が希薄。個人個人の働きかけにも限度があり、自治体等の働きかけが必要。（女性・60歳以上・西地域）
- 混迷したこの時代、我々、老人の入り口にさしかかっている団塊世代、この年代がどのような生き方をこれからするのかで国の予算も動くかもしれない人口区分と考えています。身体を健康に・心安らかにをモットーにし、もう少し頑張って残った時間を他人のために使えるように生きられたらと思ってます。このような機会を得られましたことに深く感謝いたします。基本として、政治がそして県政が、あくまでも一人の人間が健やかに成長し、死んでいけるための補助的なものであれば、こんなに嬉しいことはないです。そのための税金であれば払う方も嬉しいでしょう。（女性・50代・西地域）

- 健康な高齢者が簡易に楽しく取り組める環境（整備・美化）ボランティアの導入とその情報提供や、専門家による講習会の開催と活動への参加等を望みます。社会のお役に立ちたい気持ちはあります。他市の取組を見学する機会（実費でも）や他市との意見交換、我が町で何が可能か知恵を出す場などを設けてほしい。年とともに、これまでの人生に感謝と還元したい気持ちが高まるものです。（女性・60歳以上・西地域）
- 高齢化社会に向けて、医療費や介護にかかる金額を減らすには、「病気にならない」、「自分のことは自分でできる」人を一人でも増やすことだと思います。そのためには、県で「健康・運動」に力を入れ、設備の整備・拡大と指導者の増員等を活発にした方がよいと思います。利用しやすいコミュニティーセンターや充実した運動施設を県民に提供してほしい。登録指導者を増やして、いろいろな種目を用意してほしい。私はスポーツ（エアロビクス）指導員のため、県民のためにも指導経験をさらに生かした活動をしたいと思っています。これから国体が千葉県にくるのをよい機会に、天台スポーツセンターをはじめ、老朽化したものは新しく作り直して、「健康・運動・元気な千葉県民」をアピールするチャンスだと思います。（女性・30代・東地域）
- 今一番困っているのは、県市民税の負担です。70才の年金生活で一人暮らしなのですが、年間10万円以上の県市民税を払っています。課税所得の一割になります。なぜ、この金額になるのか説明を受けたいです。年金のように教えてもらえるなら教えてほしいです。私のように、それなりに年金をもらっているものがこのように苦情を言いたくなるのですから、県民の中にはもっともっと生活に困っている人がいるかもしれません。そうした人達って、なかなか見えないですよ。なぜなら政治的な働きをする人は、非常に生活がレベルアップしているからです。いろいろと仕事が多いと思いますが、少しでも生活にゆとりが出るように、お力を貸してください。（女性・60歳以上・西地域）

■次世代を担う子どもの育成支援を充実する

- 今一番気懸かりなことは、子ども達の教育です。鉄は熱いうちに打て、という昔の言葉もあります。子ども達を見ていると本当に悲しい限りです。これもひとえに親の責任です。子どもが生まれれば、一人前にするのは社会でもなければ学校でもない、と私は思う。すべて親の責任です。孫達にも私はしっかり口うるさく言います。今からでも遅いとは思いません。皆さんの若い力で、何とか今の若者を育ててください。（女性・60歳以上・西地域）
- 県に一番望むことは、「子育て支援」です。乳幼児医療費助成・児童手当の年齢を所得に応じて引き上げてほしいです。あとは、病児保育施設の増設、保育料の引下げ、保育園開園時間の延長など、共働き家庭を支援するような取組が今後増えてくれることを期待しています。共働きで一番困るのは、子どもが病気になったとき…。そういうときにサポートしてくれる人（ボランティア）などが地域にいてくれたら…。と思います。（女性・20代・西地域）
- 県の財政が厳しいようですが、子どもを持つ親として教育現場へのあらゆる方面からの支援をもっと重点的に行ってほしい。高齢者へのあらゆる対策が直面した問題としてとらえられていますが、しかしながら、これからの世代をしっかりと教育することこそが、本来はとても大切なことであり、教育が国や県にとって最も無視してはならないことと思っています。今後の日本がとても心配です。ただただ財源を確保し、維持するためだけに何かを切り捨てるというのではなく、今のうちに子どもにできるかぎり投資し、将来に期待するというお金の使い方をしていただければ、税金は無駄にはならないと思います。今のような現実では、とても子どもをたくさん産み育てようという気持ちにはなれません。（女性・30代・西地域）

○この頃の子どもの遊び方が気になりましたので、この場をおかりして御意見申し上げます。今住んでいる所には、本来は遊び盛りの子どもたちが大勢います。そのはずなのに外で遊ぶ子どもの姿がありません。これは異常ですよ。その子どもたちは友達の家でゲームをしているのだそうです。外で遊ぶことよりもゲームの方が魅力的なようです。子どもの遊び方というのは、これでよいのでしょうか…。ゲームを持っていないと友達とは遊べないのだそうです。ゲームを買い与えることは簡単ですが、それによる害の方が心配になります。心身が正常に成長することの妨げになるのではと危惧しています。力を入れてくださった食育は子どもたちも随分意識しているように思い、感謝しています。是非、遊び方についても啓発活動を行い、大人・子どもの意識改革をしていただきたいと願ってやみません。(女性・30代・西地域)

■住んでいる市町村への要望

○夫婦で自営業を営んでいます。最近特に思うのですが、国民健康保険料が高いと思います。これは県ではなく各市だとは思いますが、国全体でも保険料が払えず医者へ行きたくても行けない人が多いと聞いています。高い保険料を払っているのだから、近年、毎年問題になっているインフルエンザの予防注射を保険内にするなど、内容をもっと充実させてほしいと考えます。(女性・40代・中央地域)

○普段、駅まで自転車で通勤・買物をしていますが、駅の放置自転車はかなりひどいと思います。駐輪場は使用の差がはげしく、駅から遠いとほとんどガラガラ、駅周辺は放置しほうだいです。考え方の一つの案ですが、駅近くは一時貸しだけにして、少し離れた場所を通勤・通学用にして、健康増進をはかってはいかがでしょうか？雇用の増大にもつながると思います。(女性・40代・中央地域)

○市町村でのさまざまなサービス差をもっとなくすべきではないか(例えば、保育・児童手当・介護サービス・ごみ回収有料化、等々)。特に税収格差による行政の貧富の差は目にあまる。これは市町村の努力も必要だが、今の市町村にできることはほとんどないに等しい。県も十二分に考えてもらいたい。東京との差が埋まるとは思っていないが、せめて県内市町村での差はなくすべき。(男性・30代・中央地域)

○私は駅の近くに住んでおり、生活の不便はあまり感じていませんが、郊外や団地などに住んでいる方々は、スーパーや商店が閉店になったり、バスが一日に運行される回数が減って大変困っています。マイクロバスを巡回させたりしてほしいと思います。(女性・60歳以上・中央地域)

■便利な交通網を整備する

○どこに出るのにも、乗り物がありません。目と足が悪いので困っています。おつかいができないので、たまに子どもが来てくれます。お店もないです。近くに茂原バスが来ればよいのと思っています。年金暮らしで楽ではないので、タクシーは使えません。(男性・60歳以上・中央地域)

○今は車で移動があたり前の社会になっていて、車のない人、車を運転できない人は交通機関が整備されないと日常生活や医療機関への受診もままならず、山間部は大変住みづらい。田畑で作物を作っても、猿・鹿などに食べられてしまう。何か良い方法を考えて、対策をとってもらえるとありがたいです。(女性・60歳以上・中央地域)

○家の前をバスが走っていても、バス停まで歩いて 20 分以上かかります。手をあげて止まってくれたら助かります。どこでもではなく、バスが止まれるスペースがある所に限りませんが…。(女性・30 代・中央地域)

■学校教育を充実する

○小・中学校の保護者に対して、各学校に講師を招き、親へのアドバイス等を県の予算でぜひ行ってほしいです。学校だけでは勉強以外の生活指導は難しいと思うのです。教育に多くの予算をお願いいたします。(男性・50 代・西地域)

○公立学校の施設の充実、安全性の確保に取り組んでほしい。(女性・40 代・西地域)

○公立学校の整備にもっと資金を投入してほしい。(男性・30 代・東地域)

■犯罪防止対策をすすめる

○犯罪のない安心な町について。子ども達の遊び場は、高齢者の方と一緒に遊ぶことでその対策となるような方法などがあるとよいのではないかと。(男性・30 代・西地域)

○最近は物騒な世の中になり夜は心細いです。昔は警察官を交番のおまわりさんと呼び、常に見かけて安心感がありましたが、現在は何かあったときにサイレンを鳴らしているパトカーを見かけるだけです。事件と警察官でなく、おまわりさんと安心の時代を願います。自分なりに防犯を心がけていますが、アルツハイマーを気にすることが多くなりました。近頃では若い方達がボランティアに参加されるとか、ありがたく思います。(女性・60 歳以上・東地域)

○最近は殺人や暴行などの事件が多発している世の中です。信用できるものは何もない気がします。そういったものをなくす努力、安全で住みやすい環境づくりを考えてほしい。教育や犯罪への意識を高めてほしいですね。(男性・30 代・中央地域)